

5/11(土)

まじい倫理者です。只今煙草60年の夜の遷宮で煙草の
国は人々で大変賑わっています。大國を久し振りに神様の御陰で
経済効果に感謝です。感謝へ。

2013. 5. 11~5. 17



経営者は金と人を云々、部下が
多々ある誤解を招くのであり、
信じてこそ大成功も実現でき、素直に「今週の倫理」
だんぜん。

820号

「今週の倫理」

鳥

倫理法人会で学ぶ「純粋倫理」は、一般に
いわれるところの「処世術」とは違います。
「処世術」という言葉を『日本国語大辞典』
で引いてみると、「社会生活をしていくうえ
での方策。世渡りの方法」とあります。自ら
の目的達成のために前もって考え、行なう手
段であることが示されています。

書店に出かければ、「対人関係を良くする」
「業績をアップする秘訣」など、ノウハウを
紹介する書籍が多く陳列されています。技術
の習得は決して悪いことではありませんが、
多くの技術や知識を得たとしても、その後に
行動しなくては意味がありません。

動かなければ意味をなさないのは、純粋倫
理の実践と同様です。技術的な方法論だけで
は先に進みません。さらに不足・不満・不信
といった心を抱いている場合、様々な困難に
襲われることがあります。目に見えない心を
磨く実践は難しいものですが、心は形となつ
て私たちの目の前に現われます。例えば「言
葉」や「表情」といったものに転換されて、
その人に必要な情報や、人脈に恵まれる結果
に結びつくこともあるのです。

建築設備会社に勤めて五年目になるKさ
んは、社長の日頃の行動や様子に疑問を感じ
ていました。それは「自分たち社員が真剣に
仕事をしているのに、よく毎日遊んでいられ
るな」という思いです。その思いは日増しに
強くなつていきました。

業務時間にもかかわらず趣味に精を出し、
経理は事務員に丸投げをしている社長の見

社員を信じきり 実践型企業を築く



絵・今谷 鉄柱

ている世界は、どのようなものなのだろう。
自分とどのように違うのだろう。そう思った
Kさんは、何か共感できるものはないかと考
えました。書店に行き、目についた書籍を数
冊購入して読み始めました。

しかしどの本にも、社長の行動に当てはま
るものはなく、むしろ正反対の内容が多く目
につき、社長への不信感が更に募りました。
不信を抱きつつ仕事をしていたKさんは、
ある日、現場に向かう途中で事故を起こしま
す。六カ月の入院となりましたが、社長が姿
を見せることはありませんでした。退院後、
自身の解雇を確信し、会社に向かいました。
久しぶりに出社したKさんを迎えたのは、
綺麗に磨き整えられていたデスクでした。た
だ驚いて立ち尽くしていると、社長から「ま
た頼むぞ」と一言だけ言われたのです。

復帰したKさんは、退院までの間、Kさん
の机まわりを清掃していたのが社長だと知
りました。また、あえて実務には口を出さず、
各部署のスタッフに任せきるのが長年の経
験から得た社長のスタイルであることも、先
輩社員から初めて聞かされました。

社員を想い、社員を信じるといふ信念の強
さに、Kさんは感動したといえます。そして
「会社経営に定型・定番などなく、信念こそ
が最も大切なのだ」と痛感したのです。

「純粋倫理の実践」は、実践する人(経営者)
の「心のありよう」が根本です。技術だけで
なく、必ず「心」を寄せて実践に取り組んで
いきたいものです。